

科目分類	専門分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	看護学概論 I (看護の概念)	学 期	前 期	吉田 真奈美 (看護教員)
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目的	これから学ぶ看護学への導入として、看護とは何か、看護の本質と機能および看護専門職の役割と活動について学び、自らの看護に対する興味や関心を高める。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の主要概念（人間・看護・健康・社会）を理解する。 2. 健康水準と看護との関連、および看護の機能・役割を理解する。 3. 看護倫理について理解する。 4. 保健医療福祉サービスにおける看護活動の場について理解し、その中における看護職者の役割機能について考察する。 			
授 業 計 画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	看護とはなにか 1	看護の本質	課題学習・講義
	2	看護とはなにか 2	看護の役割と機能	課題学習・講義
	3	看護とはなにか 3	看護の継続性と連携	課題学習・講義
	4	看護とはなにか 4	ケースから学ぶ看護	課題学習・講義
	5	看護とはなにか 5	書籍を読んで学ぶ看護	課題学習・講義
	6	看護の対象の理解	人間の「こころ」と「からだ」 人間の発達 人間のくらし	課題学習・講義
	7	『看護とは』まとめ	『看護とは』について考える 考えをまとめる 自分たちの言葉で語ってみる プレゼンテーションする	個人ワーク
	8			グループワーク
	9			
	10			
	11	健康のとらえ方	健康とは何か 国民の健康の全体像	課題学習・講義
	12	看護の提供者・専門職としての看護	職業としての看護 看護職の資格	課題学習・講義
	13	看護提供の仕組み	看護サービスと提供の場 看護をめぐる制度と政策 看護サービスの管理	課題学習・講義
	14	医療安全と医療の質の保証	医療事故と看護業務 医療安全管理 医療事故の防止	課題学習・講義
15	看護における倫理	現代社会と倫理 看護実践における倫理問題	課題学習・講義 グループワーク	
教科書	看護学概論（医学書院）、看護者の基本的責務（日本看護協会出版会） 看護の力（岩波新書）			
参考文献	F. ナイチンゲール, 湯楨ます訳: 看護覚え書き（現代社） V. ヘンダーソン, 湯楨ます, 小玉香津子訳: 看護の基本となるもの（日本看護協会出版会） 吉川洋子, 杉谷藤子: 看護学生のための患者さんの声に学ぶ看護倫理（日本看護協会出版会）			
評価方法	定期試験 60%、ノートや課題の提出状況および内容・授業中の態度により 40%を基準に総合的に評価する。			
関連科目	人間関係論、生活科学、心理学、社会学、社会福祉と法規、看護関係法規、在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、災害看護と国際協力、			

	看護管理と医療安全
自己学習に関する指針	<p>該当授業の教科書を事前に読んでおくこと。授業の進度に応じて参考図書を読む。</p> <p>授業で示す学習目標が達成できるよう積極的に参加し、感じたこと考えたことを言語化し共有する。</p>
その他の通知事項	<p>看護学概論は、これから学んでいく看護への基本的理解と展望を導くための科目です。</p> <p>理解しにくい部分もあると思いますが、看護の対象となる人々に関心を持ち、医療や看護に関する現実の課題や社会への関心を持っていきましょう。単に知識を得ることだけでなく、毎回授業の振り返りをしながら、疑問を持ち、調べ、議論を通して考えを発展させ、自ら考え行動できる学習姿勢を身につけていきましょう。</p>